



平成 20 年 7 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ラックランド
代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎
(コード番号 9612 東証第 2 部)
問合せ先 執行役員管理本部長 中島 和男
(TEL03-3377-9331 (代表))

中期経営方針の策定と新コーポレートロゴの制定に関して

株式会社ラックランド（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：望月圭一郎）は、中期経営方針の策定および新コーポレートロゴの制定を致しました。時代と環境変化に伴い、お客様が求められるサービスの次元が変わってきております。当社としては、創業以来約 38 年間、商空間の企画制作会社として培ってきた現場力の更なる進化と我々の持つ力を注力すべき方向性を定め、企業活動に邁進してまいります。またこの中期経営方針の策定に伴い、我々の目指すべきミッション、企業ビジョン、事業活動、ソリューションを明確に再定義する中で、我々の想いを表し、社員一同、その下に集えるコーポレートロゴを制定いたしましたのでお知らせいたします。

ここに本日を第二創業と定め、次世代のラックランドに向けた取り組みを開始致します。

1. 中期経営方針の概要

ラックランドは商空間の企画制作会社として培ってきた現場力の更なる強化を促進することに加え、以下の分野に対しより積極的に取り組んでまいります。

- (1)「商業施設制作に向けて企画段階からの積極的な取り組みと建築設備分野、内装監理業務への参入」
- (2)「店舗メンテナンスサービスの強化とライフサイクルコスト削減への取り組み」
- (3)「企画提案力の強化とブランド化」
- (4)「温暖化ガス削減と省エネルギー化を実現する企画提案・設計・施工・保守サービスの実現」

2. 新コーポレートロゴの概要

「商空間」を現す立方体に、ラックランド[LUCKLAND]の頭文字の「L」を 2 つ組み合わせ、弊社の先人たちが築き上げた理念、経験、実績、総合力、信頼の上に、先人からバトンタッチした我々の新ステージ創造への向上心、チャレンジ精神、成長力、先進性を示します。従来の二次元から三次元へ進化させることにより、我々自身が次元を超え、進化していくことを表しています。

※1、2の詳細に関しましては、添付資料をご覧ください。

3. 今後の業績に与える影響について

本件による通期業績に与える影響は、現時点において未定であります。業績に与える影響につきましては確定次第、開示いたします。

以上

【添付資料】

ミッション

「商空間創りを通じ、皆の笑顔を作り出す」

我々は商空間の企画・制作・保守メンテナンスを通じ、お客様の笑顔、お店で働かされている方の笑顔、お店に集う方の笑顔、そして全ての人が笑えるための地球の笑顔を作り出します。

企業ビジョン

「究極の現場力を持ち、身体と頭で汗をかける企業になること」

時代と環境の変化と共にお客様の求めるものも進化しています。そういった中、ミッションで掲げている「皆の笑顔を作り出す」為には我々自身が笑顔を作る力を有しながら、頭でその変化を理解し、新たな次元へ方法論を組み立て直さなければなりません。

今まで長年築き上げた現場力に加え、現場力を最大限に活かすソリューション、つまり高品質かつコストパフォーマンスに優れた商空間を提供するだけでなく、お客様が真に求めていらっしゃるもの、お客様に真に貢献できるサービスを現場力に融合した新たなものを創り出せる企業でありたいと考えています。

1-1. 中期経営方針の詳細

(1) 「商業施設制作に向けて企画段階からの積極的な取組みと建築設備分野、内装監理業務への参入」

2004年度の大型商業施設における大型建築設備と内装監理業務の受託以来、ラックランドは積極的に商業施設分野に取り組んでまいりました。2004年以降におけるこの分野での売上は20億円を超えております。また近年では大手デベロッパーのパートナーとして商業施設の企画段階からの提案、事業コンセプトや事業計画の作成支援も行っており、具体的な実績となっております。今後、ラックランドとしては今まで培ったノウハウをさらに強化し、積極的に取り組んでまいります。

(2) 「店舗メンテナンスサービスの強化とライフサイクルコスト削減への取り組み」

人と同じように商空間にもライフサイクルが存在します。当社は、1970年の設立以来、38年間の歴史を通じて、積み重ねてきた店舗メンテナンス実績は、延べ30万件以上（年間2万件）となります。緊急メンテナンスに対する対応力をさらに強化すると共に、これまで蓄積されたノウハウを活かしたライフサイクルコストの低減提案や具体的な保守サービスの構築に努めてまいります。またラックランドのセンターを通じた「24時間遠隔監視システム」や、よりお客様に高品質なサービスを提供する為の新保守契約プラン「ラックランドプレミアム倶楽部」の立ち上げを行って参ります。

(3) 「企画提案力の強化とブランド化」

当社ではこれまで徹底した現場主義のもと、設計職希望者に対し、現場の施工管理経験を積ませておりました。その結果、実際の施工に関する知識に精通した設計社員が 54 名、また本年度以降に配属予定の社員が 22 名おり、日々業務に従事しております。実際に現場を理解した設計者が、商空間創りにおける企画段階において、コンセプトの取りまとめや企画提案力をこれまで以上に強化することにより、企画から実際の制作まで精通した設計者というブランド化を進めてまいります。

同日にリリースさせて頂いた株式会社ゼットンとのパートナーシップ契約締結もその一環でございます。

(4) 「温暖化ガス削減と省エネルギー化を実現する企画提案・設計・施工・保守サービスの実現」

当社では 1986 年の冷凍冷蔵分野における省エネシステム(LAB システム)の開発以来、商空間における温暖化ガス削減と省エネルギー化に向け活動してまいりました。今後、我々は商空間に携わる者として、商空間における CO₂ やエネルギー消費量の調査・分析から建築素材の仕様、冷凍設備、照明、空調設備分野における具体的な改善提案、そしてその後の追跡まで行ってまいります。

また今後はエネルギー効率の高いヒートポンプシステムの導入、高省エネ機器の普及をより促進するためのレンタル事業、そして、資金負担を軽減するためのエコローンの導入といった内容に関してもより検討し、地球に優しい環境づくり、低炭素化社会に向けた商空間創りを目指します。2008 年 7 月 9 日 (水) にプレスリリース発表致しました、「eco model (エコモデル)」もその一環であります。

上記の 4 つの方針を積極的に取り組みながらも、ラックランドは商空間の企画制作会社として長年培ってきた現場力の更なる強化も進めてまいります。その準備期間として、この 3 年間、現場力を支える人材力の強化に注力してまいりました。新卒採用に関しましてもこの 3 年間で 60 名の採用を行い、教育、育成に努めてきた結果、現場の施工管理において内製化が進み、本年度末においては常駐の施工管理における外注契約社員がゼロになる見込みです。ラックランドが約 38 年間、培ってきた現場における施工品質、コストパフォーマンスに関し、継続して強化してまいります。

2-1. 新コーポレートブランドロゴの詳細

「商空間」を現す立方体に、ラックランド[LUCKLAND]の頭文字の「L」を2つ組み合わせ、コーポレートカラーのラックランドブルーとラックランドオレンジを配しています。立方体の土台となるブルーは、弊社の先人たちが築き上げた理念、経験、実績、総合力、信頼を現し、上部のオレンジは、先人からバトンタッチした私たちの新ステージ創造への向上心、チャレンジ精神、成長力、先進性を示します。また、仰ぎ見るアングルには、未来に向けて羽ばたく気持ちが込められています。



ラックランドオレンジ：企業の向上心／チャレンジ精神／成長力／先進性



ラックランドブルー：確固たる理念／経験と実績／総合力を有する信頼性

・使用開始

平成20年8月2日（土）から順次使用開始、平成21年1月5日（土）より全面的に開始致します。

2-2. 従来のロゴマークについて

従来のロゴマークは、冷凍冷蔵設備業として創業した我々の想いを表しており、3本の波は‘冷氣’の流れを表しています。我々は原点を忘れない為にも従来のロゴマークはラックランドの冷凍冷蔵関連におけるブランドロゴとして継続して使用していきます。



会社概要

株式会社ラックランドは、1970年の冷凍冷蔵設備業での創業以来、『食』に関わる商業施設・店舗の設計および商空間制作を手掛けてまいりました。38年にも及ぶ経験で培った確かな企画力、設計力、技術力、それらに基づいた高品質な商空間制作を実現しております。また、業界の中でいち早く「店舗の省エネ・CO₂削減支援」にも取り組んでおります。

(1) 商号	株式会社ラックランド
(2) 代表者	代表取締役社長 望月 圭一郎
(3) 所在地	東京都新宿区西新宿 3-18-20
(4) 創業	1970年5月
(5) 主な事業内容	店舗施設の企画制作事業 > 立地調査、ビル設備調査、企画、設計、施工 商業施設の企画制作事業 > 建築設備、内装監理業務、事業計画立案、大店立地法調整、 (建築・内装・設備) 設計、施工 食品工場、物流倉庫の企画制作事業 > 冷凍冷蔵設備、建築設備、建築設計、施工 店舗メンテナンス事業 省エネCO ₂ 削減事業 (エコモデル) 建築事業 今後、地球温暖化ガス削減に向けた省エネ・CO ₂ 削減事業を積極的に展開してまいります。
(6) 決算期	12月
(7) 従業員数	255名
(8) 事業所	東京 (本社、分室、新館、技術センター) 大阪支店、札幌営業所、仙台営業所、名古屋営業所 北関東メンテナンスステーション、東関東メンテナンスステーション、横浜メンテナンスステーション、配送センター
(9) 資本金	1,524,000千円
(10) 発行済株式総数	7,864,000株
(11) 売上高	13,395百万円